

大府での安保関連法反対運動に参加して

力を合わせ戦争への道に NO を

平和を守りたい人全員集合！大府
河村勝正

知多半島のつけねの大府から「全員集合！大府」の今をお知らせする。

1 「平和を守りたい人全員集合！大府」の始まり

安倍政権の暴走を止めるためには、力を合わせる必要がある。別々の行われている大府の安保関連法反対の反戦平和の願いを、時には一緒にしようということから「平和を守りたい人全員集合！大府」が50人を超える賛同者の支持のもとに誕生した。第一回目の意思表示の場を2015年9月19日に計画した。ご承知のように安保関連法(戦争法)が同日未明、参議院本会議で成立した日だ。「戦争法反対」の大府での初めてのトーク&パレード(デモ)を100名近くの参加者で行った。

その日から毎月19日には、「平和を守りたい人全員集合」のスタンディング&トーク、又はトーク&パレードが行われている。

2 大府市議会への働きかけ

同年12月の大府市議会に「安保関連法施行中止を国に求める意見書の提出を求める請願書」を「全員集合！大府」からも出した。この請願は、市議会総務委員会は趣旨に賛成の票決であったが、本会議では賛否が8対8となり議長の反対の決裁で提出されなかった。

市議会の働きかけの中で議員諸氏とのつながりもできた。無所属で当選し、事後会派に加わり、会派の拘束に縛られる姿も見た。

3 「3票」の差が

この悔しい思いは、同年4月26日市議会選挙に遡る。今回の請願の趣旨に反対した当選議員と賛成するだろう次点だった候補者の票差は3票だった。3票の違いが反対9対賛成8を作り出した。逆であったら賛否が逆転し、恐らく議長決裁はなく反対7対賛成9で請願は採用されたはずだ。一票一票の重みを肌で感じた。

4 市民と野党をつなぐ会@愛知に参加して

私たちの願いを実現するには、国会で多数を取らなければならない。そのためには、願いを実現させる公約を掲げる野党が共闘し、より多くの議員を国会に送り出す必要があるとの思いから「市民と野党をつなぐ会

@愛知」の「@愛知7区」に加わり、大府での市民と野党をつなぎ、市民と市民をつなぐ運動を始めることとなった。

一票の重み、一人の議員の重みを味わった私たちは、市民と市民をつなぐ「社会の主人公」としての役割を皆が少しずつ果たすことによってしか願いは実現できないと感じているし、それができれば必ず実現できると信じている。

5 「社会の主人公」になろう

願いを持ち寄ろう、願いの実現に向けて妨げる者との違いをはっきりさせよう、妨げる力をはねのける工夫を考えよう。そして、願いを広めながらもっと多くの人の願いを集めよう。

動き始めると失敗や成功の事例が出てくる。それをみんなのものとして共有しよう、考えよう・力を貸そう・力を借りよう。

みんな「社会の主人公」という仲間だから。

6 願い実現するための公約を持つ政党や政治団体の力を合わせながら

私たちの運動は、私たちの願いを実現する運動である。それを妨げるものへの抗議の運動でもある。私たちの願い実現の先頭に立ってくれる政党や政治団体の知恵や力を借り、力を合わせる選挙をする中で、私たちも「社会の主人公」として成長しよう。

そんな思いで準備している「全員集合！大府」である。

※『「社会の主人公」とは、自分や周囲の者が不当な状態に置かれているときに、それに気づき、抗議し、解決できる人間になることである。』(「主権者」よりも「社会の主人公」に 千本筑波大学名誉教授の論文より)

「市民と野党をつなぐ会@愛知

昨年、11月4日、以下の趣旨、目的でつなぐ会が結成されました。すでに、活動を始めている選挙区もあります。野党は共闘、市民も共闘で安倍政治をストップさせましょう。

1) 来るべき衆議院選挙において、愛知県下15区で市民と野党が共同し、「安保法制の廃止」「立憲主義の回復」「個人の尊厳を擁護する政治の実現を目指す」野党統一候補の実現とその勝利のために必要な活動をします。

2) 他の政策については各区の実情に合わせて合意をしていきます。